

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	工学部	機械工学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	パデュー大学ノースウェスト校 (アメリカ合衆国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program		
報告書提出日	2019年9月18日		
留学予定期間	2019年8月～2020年5月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 200 (ドル) /合計

航空券代： 252, 670 (円) /合計

ビザ申請関連費： 180 (ドル) /合計

その他 (): () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月頭に大学より入学許可証と併せて今後の手順などが書かれた書類を受け取る。神奈川大学の Web ステにあたる my PNW の設定をすべて完了し、かつ航空券を購入し Airport Pick-up の日にちを 2 週間以内に伝えた。

6月中旬には VISA の面接へ行きました。持ち物は面接予約表、過去 10 年の古いパスポート、SEVIS 費、寮の支払い証明書、証明写真、入学許可証、残高証明書です。しかし、残高証明書は求められませんでした。

1.2. 渡航について

18 時の成田発便だったため、家を 14 時頃に出発し、スカイライナーに乗り成田空港第 2 ビルへ向かい、16 時頃に到着した。

現地では、二人の大学スタッフが迎えに来てくれて、寮までは車で 1 時間ほどだった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

入寮手続きは渡航前に大学ホームページから行い、初めに 200 ドルの預金と 20 ドルの申し込み手数料を支払いました。その後、個人情報や緊急時の連絡先、ルームメイトの好みなどを登録し最後に免疫証明をインターネットへアップロードして渡航前の手続きを終えた。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

寮へ到着したのは夜の8時頃だったため、翌日に OGE(Office of Global Engagement)へ行きチェックインをした。チェックインに必要な書類は、パスポート、DS2019 と英語で補償額の書かれた保険の証明書で、それに加えて寮の住所や連絡先、緊急時の連絡先を所定の用紙へ記入した。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイズメントテスト等の学内手続き

8/13 プレイズメントテスト：到着から1週間後にあり、1時間のライティングテスト、1時間半のリーディングとリスニングテスト、その後1対1のスピーキングインタビューをして終了。その後簡単なキャンパスツアーがあった。

8/14 オリエンテーション：このオリエンテーションは新しく大学へ来たすべてのインターナショナルの学生を対象としたもので、クイズ形式で大学のマスコットや周辺地域の簡単な説明があり、その後大学規則の説明を受け、その後カフェテリアへ移動し他の学生と一緒に昼ご飯を食べた。午後は、クラブ活動の説明、寮で火災があったりした際のための保険の説明や、カウンセリングセンター、大学に駐在している警察官についての説明などを受けた。

8/15 ピクニック：新入生と新しく大学へきたインターナショナルの学生を対象にしたピクニックがあり、食事や飲み物が無料で提供された。

8/16 オリエンテーション(ELP)：担当の先生とクイズ形式で会話をし、ELPのハンドブックで重要な箇所を他の学生とハンドブック上で探し質問用紙を埋めるエクササイズをした。その後、各学生ごとにクラスとスケジュールが配られた。その後、ELPの学生と先生たちでピザを食べてオリエンテーションは終了した。また、履修登録はプログラムディレクターが行い学生が行う必要はなかった。ただし、アカデミックの授業を取ることができる学生は選択を行う必要があり、私は流体力学の授業を取りたかったのでその旨を伝えたとこ、本来ELPの学生がとれるレベルの授業ではなかったため、学部の担当者に相談する必要があり、担当者を尋ねたところ快くコースに入れてくれた。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

IELTS で 7.5 点または、TOEFL で必要スコアをとる、また、大学院入学へ必要な GRE スコアを取得する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本にいる間は毎日英語で書かれた本などを読んでいたので、語彙などが分からないことはほとんどないが、ネイティブスピーカーの友達との会話は聞き取れないこともしばしば。また、スピーキングもエッセイで書くような内容ではない日常生活、例えば料理やスポーツに関する表現にはよく苦労する。あまり深く考えず、少しずつ自然な表現ができるようになればと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

忘れていた文法の発見と補充を行う。また、授業外でアメリカ人の友人と過ごすことが多いが、授業などで先生が使う言葉と全く違うので、話す機会を増やしてリスニング力を向上させたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Writing [9:30-12:30], Fluid Mechanics [15:30-16:45]
火	Listening / Speaking [9:30-12:30]
水	Writing [9:30-12:30], Fluid Mechanics [15:30-16:45]
木	Listening / Speaking [9:30-12:30]
金	
土	
日	

4.2. 授業について

Writing Class

文法が書かれたプリントなどが配られ、それを使って文を作り答える形式の授業で、文法とともにスピーキングの練習にもなる。

Listening/Speaking Class

映像、または CD を使ってリスニング問題に取り組む。具体的には、空欄補充やクリティカルシンキングを行う。また、他の学生とともに考える機会も多くある。

Fluid Mechanics

先生から学生への流体にまつわる質問から始まることが多く、その後基礎法則の解説があり最初の問題の答えを確認する形式で授業が行われている。流体力学が用いられている様々な例を紹介してくれるのでとても興味深い。

4.3. 予習・復習・自習について

Writing Class

予習は必要ないが、授業ごとにライティングの課題が課され、その週の授業で習った文法などを活用する演習を行う。自習については、授業内で配布された教材を参考にライティングの訓練を行う。

Listening/Speaking Class

次回の授業で行うリスニング教材を事前に聞いて、問題に答える予習課題などがある。また、授業で使っているテキストにはオンライン教材があり、それを用いて毎週宿題や自習ができるようになっている。内容は、語彙、リスニング、ノートテイキングスキル、スピーキングなど多岐にわたる。

Fluid Mechanics

毎週授業の復習問題を 5,6 問宿題として課される。自習は授業で扱った問題を解きなおす。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
日本にいたときは母が毎日料理を作ってくれていたのですが、自分で料理することはなかったが、一度始めてみるとリフレッシュにもなり毎日料理するのが楽しい。学生寮は教室へとても近く、日本での生活よりも快適。今までのところ特にカルチャーショックなどは体感していない。	

5.2. 課外活動について

金曜日は友人と一緒にご飯を食べて過ごし、土日は部屋でゆっくりしていることが多い。また、日曜日以外は毎日学内のジムでトレーニングをしている。

5.3. 現在までの感想

英語のクラスが週4回とアカデミックのクラスが週2回あるが、圧倒的にアカデミックのクラスのほうが厳しい。流体力学の知識が少し抜けてしまっているのもあるが、それ以上に今まで日本で20年以上Kg,m（メートル）を使ってきたので、簡単にはpsiやlbf/in ² 、その他の物理単位に馴染めない。また、生活面では最初の一か月たつまでは友達や知らない人にすれ違いざまに"What's up man?"や"How's it going?"と言われたときに頭では"good"といえればいいとわかっているにもかかわらずには言葉にできなかった。しかし、一か月经ったあたりから、返事にも多少なれてきた。今後は、そのあと追加の会話に続けていけるようになれたらいいと思う。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (10月)

所属	工学部	機械工学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	パデュー大学ノースウェスト校 (アメリカ合衆国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program		
報告書提出日	2019年11月1日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

IELTS でオーバーオール 7.0 を最低でも取り、GRE でも必要スコアを取る。スピーキングは苦手なので、ライティングとリーディングは 7.5 点を目標とする。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月はライティングの授業でアーギュメントエッセイについて勉強していたため、これに重点を置いて復習し、ライティングの中間テストは 98% を取った。また、リスニングについては教材ではないが動物に関するドキュメンタリーなどを毎日視聴しリスニング力を向上させた。しかしながら、約一年ぶりに IELTS のリーディング問題に取り組んだところ、とても酷い結果になったためリーディングの自習を開始した。流体力学の中間試験は 98% を取り、復習は十分に行えていると考える。

1.3. 今月の学習・研修目標

IELTS 受験に備え各セクションの勉強を行う。主にリーディングとライティングのスピードを速めるために問題集に取り組む。また、期末試験でもすべての科目で 90% 以上とれるように勉強を行う。11 月はプロセスエッセイのテストがあるため、最低でも 95% とれるよう練習を重ねる。

2. 学修について

2.1. 授業について

ライティングの授業では、名詞節の練習と並行してアーギュメントエッセイとプロセスエッセイについて学習した。授業で配布された、エッセイの構造などを理解したことで構造的なミスの指摘はなくなったが、細かい文法のミスなどが残っているのでこの点に注意してライティングに取り組みたい。授業内容はほぼ 100% 理解している。リスニングについては、ノートテイキング&サマリーの授業が始まり今までで一番難しく感じている。授業内で配布されるサンプルの構造を分析し、より良い要約が書けるよう取り組んでいきたい。

流体力学については、神奈川大学の授業では習っていない Navie-Stokes 方程式を使った問題などを扱い始め、難易度が非常に上がった。また、毎週課されるホームワークの難易度はとても高く、理解に

数時間かかることもしばしばある。

2.2. 予習・復習・自習について

ライティングについては、授業で配布されるエッセイの構造などを理解したことで構造的なミスの指摘はなくなったが、細かい文法のミスなどが残っているのでこの点に注意して取り組みたい。また、自習としてドキュメンタリーを視聴し、その中で目を引くようなライティングで使えるセンテンスをExcelへまとめている。リスニング/スピーキングの授業は、オンラインホームワークやプレゼンテーション作成以外では、要約の書き方のみ復習している。

流体力学は、復習のホームワークが毎週課されるのでそれに取り組み、テストがある週はその範囲のホームワークを全問数回解きなおすことで対策している。

2.3. 語学力について

滞在2か月を過ぎたあたりからスピーキング力とリスニング力の向上を実感し始めた。Netflixを毎日視聴したことが主な向上の要因だと思う。なぜなら、寮に住んでるとは言え、常に友人と会話できるわけではないので、空き時間でも英語に触れる機会を増やせたからである。滞在1か月頃は、銀行や床屋へ行くのはやや躊躇したが、現在は特にストレスなく行けるようになった。会話であれば、問題ないがプレゼンテーションなどを準備なしで出来るレベルではないので、今まで同様に友人と話すことで力を伸ばしたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居 学内寮（その他： ）

10月中旬から朝は肌寒い日が多くなってきたため、冬服の準備が必要である。食事については、すべて自炊しているため、以前より料理が上手くなった。夜ご飯はルームメイトと一緒に食べることが多い。

学生寮はかなり快適で、不自由なことはない。今は、中国人とアメリカ人のルームメイトがおり3人で生活しているが、関係はとても良好で毎日一緒にご飯を食べたり、会話をしている。10月下旬ごろからは、毎朝基本が10°以下で日本に比べて冬の訪れが早い。

3.2. 課外活動について

休日は、基本的に部屋で海外ドラマを見たり、作り置きの料理を作ったりしてゆったり過ごしている。しかし、10月の休日は友人の姪の1歳の誕生日会に参加し始めてアメリカの文化に直接触れられたような気がした。日本とはまったくことなり、30~40人の親族や友達に参加して3時間ほど会話をしたり写真を撮ったりして過ごしていた。

3.3. 現在までの感想

今年中にIELTSの必要スコアを取得出来ればと渡航前は考えていたが、授業の復習や課題が非常に忙しく現在はあまり対策に時間を充てる余裕がない。そのため、来期は英語のみに絞りIELTS及びGRE対策へ当てる時間を十分に確保したい。また、10月に町が停電し復旧までに12時間ほどかかりその日の授業もすべてキャンセルされた。アメリカのキッチンにはガスではなく電気が多いようで、停電になる

と電子レンジはもちろん、コンロを使っての料理も出来なかった。10月31日には昼頃から初雪が降り、町が雪景色になった。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（第4回）

記入日	2020年2月28日	
派遣先国	アメリカ合衆国	
派遣先大学	パデュー大学ノースウェスト校	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：() <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	工学部 () 研究科	工学部機械工学科・専攻
学年	4年次 (留学開始時の本学での学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月	留学終了予定 2020年5月

I. 留學目標について

1. 留學の目的、達成目標
<p>IELTSで7.5点を取得する。また、マインドセットを手に入れる。偶然に出会ったCan't Hurt Meという本に出会って以来、自分の人生について考えるようになり留学を終えるまでに自分の力を1%でも多く使えるようになる努力をすることを決めた。具体的には、毎朝5時に起き、その日にやることを書き鏡に張り一日にやる事を考える。また、授業後はジムへ行き2時間ほどトレーニングを行う。辛さや疲労を感じても無視して目的を達成するまで続ける。帰国までは約2か月だが、続けられれば必ず新しい場所へ立てると信じてやり抜く。</p>
2. 先月の学習・研修目標および達成度について
<p>毎日読書をしたことで読むスピードがかなり向上した。また、語彙力も増えてほとんど辞書を引くことはなくなった。リスニングについても、勉強を始めた12月頃は30点以上を取れることは少なかったが、今では確実に30点以上取れるところまで向上した。また、GREの語彙と計算問題の勉強をしたが、新学期が始まり授業が占める時間が多いのでまずはIELTSのみに専念することにした。GREについては、IELTS受験後に勉強し帰国前に一度受験する予定でいる。</p>
3. 今月の学習・研修目標
<p>短い時間で構成を考えられるように毎日ライティングの練習を行う。また、ミスを減らすように注意する。リスニングについては、時々問題文の理解に時間がかかる時があるため、問題集の質問文に毎日目を通す。日頃の読書は継続し、より素早く文を読めるように努める。大学の授業についても、今まで以上に複雑な構造、より広い語彙を駆使できるように日々勉強する。リーディングの中間試験はミスをしないように気を付け100点を取る。</p>

II. 学修について

1. 授業時間割	
現在の学期：春学期	
月	Writing Level 4 9:30-12:30, Reading Level 4 14:00-17:00
火	Speaking Level 4 9:30-12:30, Creative Language 14:00-15:15

水	Writing Level 4 9:30-12:30, Reading Level 4 14:00-17:00
木	Speaking Level 4 9:30-12:30, Creative Language 14:00-15:15
金	
土	
日	

2. 予習・復習・自習について	
クラス名 : Writing Level 4	
<p>概要・内容・進度・理解度等</p> <p>この授業は前学期も受講しており、内容は全く同じため、内容は既知である。現在は、議論形式のエッセイの書き方の授業が終わり、プロセスエッセイに移るところである。授業ではエッセイの書き方とそれに伴いより複雑な文を書くための文法を均等に扱っている。今期のクラスは10人弱で構成されている。授業内で教わったエッセイの形式に添わない場合、文章としては良くても減点されてしまう。</p>	<p>予習・復習・自習について</p> <p>このクラスで扱うエッセイの書き方については、すでに理解しており、文法も理解しているため、宿題以外の予習、復習、自習は行っていない。その代わりに、ライティング力向上としてIELTSのライティングセクションの勉強と読書を通して文の構造と語彙の幅を増やしている。文法テストの前は、教科書の問題を解きなおして復習をしている。</p>
クラス名 : Reading Level 4	
<p>概要・内容・進度・理解度等</p> <p>この授業では、文章は素早く読むためのスキルや、メインアイデアを抜き取るスキルについて学ぶ。授業内容は、教科書にある文章を読みそれに関する議論をクラス内でしたり、語彙について学ぶ。また、授業内で扱った物語と似たような映画の鑑賞をし、共通点などを考える授業も行われた。日頃読書をしているので、この授業で扱う文章や語彙で悩むことはほとんどなく、またIELTSなどの問題と比較しても課される問題は簡単である。</p>	<p>予習・復習・自習について</p> <p>宿題として100ページ前後の本が配布され、それを読みワークシートを埋めたり、ある章で起こった重要なことを要約することが課される。この要約では、要約を書く上での要点や注意点を自習できる。復習は行っていないが、毎日読書をし素早く文章を理解するように訓練している。また、複雑で理解に時間がかかった分についてはノートに書き写している。</p>
クラス名 : Speaking Level 4	
<p>概要・内容・進度・理解度等</p> <p>授業は教科書に沿って行われる。この授業についても前学期に履修していたため、多くのことは既に一度習ったものである。内容については、教材のリスニングに加えて、発音の練習などが含まれる。授業の進みは非常にゆったりとしており、クラスメイトとのグループトークなどが多くを占める。扱われるリスニング教材については凡そ理解している。</p>	<p>予習・復習・自習について</p> <p>宿題として、TEDトークをもとに作られた空欄補充の問題がしばしば配布される。自習として、毎日IELTSの問題集のリスニングを聞き、また自分で朗読して発音の練習をしている。また、余暇としてアメリカのテレビショーを見て自然な表現に触れている。また、イギリス英語に慣れるために、イギリスのお城に関するドキュメンタリーを時々鑑賞している。</p>

クラス名 : Creative Language	
概要・内容・進度・理解度等	予習・復習・自習について
この授業では主にイディオムやスラングについて学習する。詞や音楽鑑賞に加えて、自分で習ったことをもとにショートムービーを作ることが課せられる。授業内で扱われるイディオムは初めて見るものが多く、アカデミックな内容というよりはより日常生活で使われるような語に焦点を当てている。このクラスは選択科目であるため、中間試験と期末試験はない。	毎週授業の初めにインターネットを介して前回授業で学習したイディオムやスラングの小テストが行われるため、復習が必要。また、宿題については実際にアメリカ人を尋ねスラングを教わる事なども含まれている。自習として、ルームメイトのアメリカ人にスラングやその使い方を尋ねたりしている。

3. 語学力について
前回近況報告書を書いた時より確実にリスニング力が向上した。何が要因で向上したのはか定かではないが、以前より確実に聞き取れるようになった。特に、渡米してから2,3か月頃に見始めたテレビショーは、最初は何を言うのかほとんどわからなかったが最近では字幕なしでほとんど理解できるようになった。また、ライティングについても、IELTSの模範解答を繰り返し書き写す事でどのように文を構成すればいいかが分かってきた。特に役立ったと感じているのが日頃の読書で見つけた印象的な文や複雑な構文を書き写す事で、これにより複雑な文、幅広い語彙、文章構成を駆使出来るようになってきた。また、スピーキングに対するストレスもほぼなくなり、先日靴を買いに行った時は日本で買い物するときと同様のやりとりをスムーズに行えた。

III. 課外活動について

休日の過ごし方、アクティビティ、サークル活動、旅行など
相変わらず旅行にはあまり興味がなくどこへも行っていないが、最近は休日をルームメイトと過ごすことが多く、ミシガン湖の畔にある国立公園へ行ったり、ドライブにいたりしている。今期はエクアドル人のルームメイトを迎え、4人で生活している。関係はととてもよく、先日は4人でランチにインド料理のビュッフェへ行った。その他の活動としては、日曜日以外の週6日はジムへ行き運動しており、最近はルームメイトも運動をはじめ一緒にジムへ行くこともある。残りの時間は読書や勉強、ドラマ鑑賞をしている。

IV. 現在までの感想

現地大学、プログラムや、悩み、就職活動、その他学修や生活などについて
IELTSの受験やどこへ行くにしても、東京とは違い車がないとどこへも行けないのが非常に困難。また、プログラムについては工学系の科目は英語力向上にはほとんど役に立たず、宿題にも相応の時間を割かなければならないので今期はEnglish Language Programのみを履修しているが、これについては既に前期履修していたこともあり物足りなさや一クラスの時間の長さなどが悩みの種である。前期の授業では、毎年雪がかなり積もるとのことだったが、今年は暖冬で雪が降ってもあまり積もらずに春を迎えそうである。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	工学部	学科	機械工学科	4 年次
派遣先大学 (国)	パデュー大学ノースウェスト校 (アメリカ合衆国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program	履修言語	English	
留学期間	2019 年 8 月～2020 年 3 月			
報告書提出日	2020 年 5 月 5 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	8 月 19 日 ～11 月 25 日 (16 週)	12 月 2 日 ～12 月 3 日	授業開始一週間前にプレイスメントテストがあり、それによりクラス分けがされる。また、専門科目の履修を希望する学生は大学のウェブサイトより希望する科目を選択する。
Spring Semester	1 月 14 日 ～4 月 30 日 (16 週)	4 月 29 日 ～4 月 30 日	秋学期と同じクラスを履修したい旨を担当の方に伝えた。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Fall Semester	Writing Level 4	85.4 時間 2.67 (時間/ 回) × 2 (回/週) × 16 (週)	議論と仮定を述べる 2 種類の小論文と文法について学習する。授業ごとに宿題が課せられ、主に習った文法を使い段落文を書くというもの。また、各定期試験前には実際のしけに同様の小論文を授業内で書き、後日添削されたものを受け取る。勉強法としては、配布された参考の小論文の構造を分析し、パターンを身に着けること。

Fall Semester	Speaking and Listening Level 4	85.4 時間	主に教科書を使用して授業が行われ、発音の練習や穴埋め形式のリスニング問題を解く。宿題としては、教科書のオンライン教材を使い、授業の復習予習に加え、単語の定義などを勉強できる。TED トークの要約とノートテイキングの宿題が課されることもある。他の授業観察も一度宿題として課され、友人が履修していた微分積分学に参加し、ノートテイキングなどを行った。
		2.67 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	
Fall Semester	Fluid Mechanics	40 時間	流体（液体と気体）の力学について学習する。授業の前半では、静止流体について習い、後半では圧縮性流体や流れの抵抗について学習する。宿題や教科書の章末問題より課されるが、非常に難しい物も含まれる。回答が付属していないため、数時間かかることもしばしば。しかし、宿題の問題を解けるまで解きなおすことで定期試験では高得点を獲得できる。
		1.25 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	
Spring Semester	Writing Level 4	85.4 時間	秋学期と先生が同じで授業内容も全く同じであったため同上。
		2.67 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	
Spring Semester	Speaking and Listening Level 4	85.4 時間	秋学期とは先生が異なったが、基本的には同じ教科書を使い学習をする。宿題はウェブニュースの話題を一つ選び、その要約を 30 秒から 1 分程度で録音し、話したことを書き下ろすというものが頻繁にかせられた。定期試験はパートナーが一人指名され、先生の前で題目について 5 分程度の会話をする。
		2.67 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	
Spring Semester	Reading Level 4	85.4 時間	教科書と配布された本を中心に授業が行われる。教科書では、文章のメインアイデアをくみ取る練習をし、配布された本については個人で読みすすめ、ワークシートを埋めていく。また、約 900 字の小論文を早く読むための練習時間なども含まれる。定期試験では、長文を 3 つ読み、メインアイデアや問われている場所を指示する問題が課される。
		2.67 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	
Spring Semester	Creative Language	40 時間	他の英語授業とは異なり、この授業では詩や歌などからスラングや熟語を学ぶ。教科書には載っていないような表現が多数あり、よりネイティブの人たちが使う言葉を学べる。定期試験はなく、習った言葉を使いショートビデオを作成することが課題として課される。
		1.25 (時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

スピーキングとリスニングについては、授業外では友人と話したり、ドラマを見たりして英語に触れる時間を延ばすように心がけていました。ライティングでは、配られた例文を参考に、文の構造を分析し自分なりに流れをまとめ、その後繰り返し様々なテーマについて実際に書いた。流体力学の授業では、分からない問題は回答を参考に分かるまで解きなおし、試験前には宿題で課された問題をすべて3回ほど解きなおした。理解できるまで行うことが一番重要だと思う。

1.4. 語学力について

留学前はリスニングの勉強は一度もせず、現地では先生の言っていることは大体分かるがネイティブの学生が言っていることが全く分からないこともしばしば。友人やルームメイトと話す時間をできるだけ多くし、それ以外の時間は海外のショーやドラマを見て英語に慣れた。帰国時には相手の言っていることは殆ど分かるようになり、ドラマや映画を理解できるようになった。ライティングについては、11月頃から読書を初め、見つけた複雑な構文や知らない語彙、気に入った表現などを Excel へまとめ、ライティングの課題などで言葉を変えて用いた。繰り返し書くことで、少しずつ自分の物へと変わっていったため、とても良い学習方法だったと思う。毎日の読書の成果もあり、留学前は文の構造や語彙で躓くことが多かったが、帰国時にはすらすらと読めるようになった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

留学前はリスニング力が乏しく IELTS の練習問題を解いても 22,3 点程度しか取れなかったが、帰国直前には 10 点ほど伸び、32,3 点はとれるようになった。スピーキングについても、言いたいことを頭で考えずスラスラとしゃべれるようになった。ライティング力も語彙数が増えたことにより高度な文章が書けるようになった。リーディング力についても、日頃の読書の成果があり読む速度が格段に向上した。専門科目の流体力学については、神奈川大学の授業で履修済みであったが、より高度な問題や新しい範囲を学習し理解が深まった。定期試験前は授業中で扱った問題をすべて数回解きなおしたことで、平均点 65 点ほどのテストで 98 点を取得した。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

履修登録前は、流体力学は一度履修済みで復習のついでに英語の授業雰囲気味わえたらと軽い気持ちでしたが、実際に授業が始まってみると使われている単位の違いや知識の抜けなどで宿題に毎週数時間かかり、他の英語授業の宿題より時間がかかってしまった。主目的は英語力向上であったため、専門科目を履修しないほうが良かったのではと思うこともある。また、11月頃に始めた読書ももっと早くから始めていれば良かったと後悔しています。読書は単に新しい知識や考え方に会うだけでなく、筆者により文章の書き方や使う単語が違うため、より自然な英語に触れることができます。

2.3. 留学生活で得られたもの

初めての一人での生活であったため、洗濯や料理を全て自分で行わなければならなかったことで、生活力が向上した。また、知り合った友達、そしてその家族などかけがえのない関係を作ることができました。渡航以降料理は新しい趣味となり、色々なものが作れるようになりました。得られたもので一番大きかったと思うのが人生で初めてマインドセットというものを知ったことです。Can't Hurt Me という本を通じて学んだ限界を超えて何かに挑戦することの大切さは今後の人生でも心に留めたいマインドセットとなりました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

もう少し早く読書を始めるべきだったと思うことはしばしばあります。英語力向上において読書はとても良い方法で、リーディング力だけでなく、ライティング、リスニング、スピーキング力も向上することに早く気付くべきでした。自分はすべて自炊していたのですが、大学のカフェテリアのメニューは割高で、かつ栄養バランスなどはあまり考えられていないようなメニューが多いので自炊が出来ると良いと思います。また、日本と違いコンビニなどで出来合いのバランスのいい食事などもないため自分でカロリーや栄養バランスを考えながら生活する必要があります。パデュー大学に限らず、多くのアメリカの大学は大きなジムがあると思うので定期的に運動をすることは健康維持だけでなく気分転換になりいい習慣だと思います。自分は旅行へは行かなかったのですが、アメリカの本土内であれば飛行機で2〜3万円程度でどこでも往復出来るので、旅行が好きな方は積極的に出向くことをお勧めします。また、今回のコロナウイルスのような感染が広まることは極めて稀ですが、アメリカ人はあまりマスクをつける習慣がないせいか日本のようにどこでも買えるわけではないので必要な方は日本から持参するのが良いと思います。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月2日	
派遣先国	アメリカ合衆国	
派遣先大学	パデュー大学ノースウェスト校	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：() <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	工学部	機械工学科・専攻
学年	4年次 (留学開始時の学年)	
	4年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 4)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(個人用のベッドルーム, バスルームが二人に一つ, キッチンとリビングルームが共用)
4	入居時手続き	(国際センターに留学許可の書類が届いた後オンラインにて申請)
5	費用 (月額)	(60,000)円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 (25,000~30,000)円
7	支払方法	(三井住友のデビットカード)
8	住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
10	周囲環境	(スーパーマーケットやコンビニは徒歩 15分ほどのところにあるが, 大学寮発のシャトルバスが利用できる)
11	アクセス	(大学の敷地内にあり, 教室までは徒歩で 15分ほど)
12	留学中の住居に関して アドバイス	(シャワーカーテンと一緒にカーテンリングを買うこと)
13	詳細を教えてください	(秋学期は中国人とアメリカ人, 春学期からはエクアドル人を加えて 4人で生活していました.)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	加入式（月額支払）
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	（国際センターの方が紹介して下さったものを契約（h2o））
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）
5	大学内インターネット接続環境	共有 PC を利用

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）			
1	宿舎費	60,000	円/月
2	食費	25,000~30,000	円/月
3	交通費	0	円/月
4	通信費	4,500	円/月 備考（\$40）
5	娯楽費	5,000	円/月
6	図書費	1,000	円/月
7	学用品（教科書など）	5,000	円/月 備考（学期初めに購入する教科書代を月割りした額。工学系の書籍は工学で、3万円ほどする。）
8	被服費	10,000	円/月 備考（冬服は一切持参しなかったため現地で購入）
9	医療費	0	円/月
10	雑費・その他	1,000	円/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）			
11	出願料・宿舎デポジット	22,000	円/月 備考（\$200）
12	ビザ申請関連費	20,000	円/月 備考（\$180）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	252,670	円/月 備考（JAL）
14	その他	90,000	円/月 備考（予防接種）
15	留学全日程に要した総額（概算）	1,400,000	円/合計
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時： 11,000 円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： 三井住友） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）		
17	現地で銀行口座開設	した	
18	口座開設手続き方法・利点・欠点		
19	お金に関するアドバイス	現金を使うことはほとんどないので、多く持っていく必要はない。また、日本のクレジットカードは鉄道などの券売機では使えないことが多いので利用頻度に応じて現地での発行が必要。	

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (7か月分で 111,820 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ

V. 持ち物について

1 日本から持っていったもの

英語の参考書, 辞書, ノートパソコン, 衣服, バスタオル, 電子レンジ用の調理器具数点, その他雑用品

2 現地で購入したもの

冬服, 教科書

3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

お箸. 現地のスーパーマーケットでは売っていないことが多い.

VI. 留学先で困ったこと

大学が辺鄙な場所にあったため, 用事などでどこかへ行く際に車がないとどこへも行けない.

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

自分は大学内のアクティビティーや任意参加の行事もほとんど参加しなかったが, 何かと友達は出来るものなので焦らず気楽に生活するのが良い.